

# 地域清掃

特別活動部

12月11日(木)の地域清掃では、寒さの中、子供たちが学校周辺の落ち葉拾いや掃き掃除に一生懸命取り組みました。花壇の中のごみや、歩道や花壇に積もったたくさんの落ち葉を協力して集め、普段私たちが使っている環境を自分たちの手で整える貴重な時間となりました。

短い時間の中でも、みるみるうちに周囲がきれいになっていく様子に子供たちから達成感あふれる表情が見られました。

活動を通して、地域の方への感謝の気持ちや、環境を大切にする心も育まれています。これからも地域とともに、きれいな街づくりに取り組んでいきたいと思います。



## 人権教育研究発表会

研究発表会委員長



11月28日(金)人権教育研究発表会が行われました。当日は、保護者の皆様をはじめ、地域の方々、区内外の学校関係者など、約400名の皆様にお越しいただきました。子供たちの学びの様子を多くの方に見守っていただき、心より感謝申し上げます。

本校は、「自他を認め、関わり合うことができる児童の育成～学び合いを通して～」を研究主題に掲げ、2年間にわたり取組を進めてまいりました。日々の授業や特別活動、行事、「かなめハートDay」や人権標語、かなめの木などを通じて、学校生活全体で、人権を大切にし互いを認め合う姿勢を育ててきました。

発表会当日の公開授業では、どの学年でも、子供たちが友達の意見をよく聴き、自分の考えを一生懸命ことばにしようとする姿が見られました。「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を意識しながら、うなずいたり、相手の言葉を受け止めたりする様子は、この2年間で培ってきた学び合いの力の表れだと感じました。大勢の参観者に囲まれ緊張しながらも、いつもと変わらず授業に集中し、自分の思いや考えを伝えようとする姿は、子供たちの成長を強く感じさせるものでした。

発表会後のアンケートでは、「多くの大人に見守られながらも、生き生きと授業に取り組む姿が印象的だった」「先生が丁寧に一人一人の考えを引き出しており、日頃の指導の積み重ねが伝わった」などの声が多く寄せられました。「家庭でも相手の気持ちを考えてことばを選びたい」「自分の学校でも、かなめの木のような取組を参考にしたい」といった感想もあり、本校の実践がご家庭や他校の学びにもつながっていることをうれしく感じました。

今回の研究を進める中で、人権教育は特別な時間だけで行うものではなく、毎日の授業や生活の中で育まれていくものであることを、改めて実感しました。子供たちが話合い活動を通して友達のよさに気付き、自分とは違う考え方を受け止めながら自分の考えを深めていく姿は、「自分も大切・相手も大切」という人権の視点と深くつながっています。

人権教育の取組はこれからも続いていきます。子供たちが、学校や地域、そして将来社会に出てからも、互いを尊重しながら生きていけるよう、授業づくりと学級経営の工夫を重ねて行きたいと思います。ご家庭においても、日々の会話の中で、「相手の立場に立って考えること」「ことばが相手を傷つけることも、支えることもできること」などについて、お子さんと話題にしていただければ幸いです。

当日は受付や誘導等多くのPTAの方々にもご協力いただきました。誠にありがとうございました。

